

本目 さよ

3歳の壁を取り壊せ！

ほんめの眼”～homme's eye～
区政報告レポートVol.14

Sayo Homme



発行 台東区議会議員 本目さよ
上野桜木2-1-9-6A

決算審議における質問

1. 3歳の壁を取り壊せ！

『区が関与している保育所（認証や保育ママ含む）の2歳児と3歳児の定員は、2歳児のほうが多くなっている。平成25年4月時点の2才児の定員は513人であり、翌年のその2歳が持ち上がった、26年4月の3才児の定員は452人。このままでは、来年度もいわゆる「3歳の壁」が生ずることになるが、これに対してどのような対策をとるのか？』と質問。

また、『本来は、1年間育児休業を取得したいが、4月入園のタイミングで仕事に復帰して0歳で預ける人や、1歳児での入園を回避して0歳から預ける人など、いわゆる「1歳の壁」の対応策は？』と尋ねました。

回答は、『3歳児の定員については、保育所だけでなく幼稚園を選択される場合もある。こうしたニーズを踏まえた事業計画とすることで対応している』といった、答えになっていない答弁でした。

『来年4月にも2歳児と3歳児の定員の差が41名分あるため、3歳の壁にぶち当たってしまう保護者がでないように、全力をつくすべき』と伝えました。

1歳児の壁については、『年度途中で産休・育休から職場復帰を予定されている方を対象に、保育所入所予約事業を実施している』との回答。これも残念な答えでした。

3. アンテナショップは区内事業者優先で！

台東区の技術力やいいものを広めるため、台東区はWeb上でアンテナショップ（左図）をオープンしています。しかし、参加しているショップの区内業者の割合は、なんと、約4割。この事業をはじめるときにははっきりと「区内企業」のため、と言っていたと指摘。区外の企業のために税金をつかうのはおかしいと指摘しました。

2. 子どもに安全なまちに！

①『東京都でも通学路に設置する防犯カメラの助成が始まっており、本区としても防犯カメラとICタグによる登下校メールサービス、やメールの連絡網など、様々な要因を総合的に考えるべき』と提案。

『さまざまな取り組みの連携をはかり、通学路の防犯カメラの設置も含め総合的に検討する』との回答でした。

②『タバコの受動喫煙は胎児や子どもへの影響が大きい。そこで、「子育てするなら台東区」と謳う本区として、禁煙を望む方へのより充実したサポートと、妊産婦に対する禁煙サポートの強化を行うべき』と提案。

『今後は、検診受診者の中で記念を希望される方に対して必要な情報を提供するなど記念サポートを充実していく。また、妊産婦に対しては、タバコの健康への影響について啓発すると同時に禁煙支援を確実に推進していく』と、子どもに安全なまちについては、前向きな回答でした。



第三回定例会報告

約10億の補正予算を含む議案28件を可決、さらにH25年度決算について、8日間にわたり審議をしました。別途決算特別委員会における質問は上記に記載したとおりですが、審議の結果、決算を認定しました。

・この年は私をはじめとして複数の議員が提案した共同型家庭的保育室（マンションなどの一室で保育をするミニ保育所）などがはじまった年であり、成果を上げていること。（3歳の壁などの課題も多いが、それは今後対応していくべきと提案）

・今後、子育て支援や介護、また建物の老朽化など行政需要が増大していく。今のうちにある程度貯めておかなければ未来ヘツケを回すことになってしまう。25年度は今後の財政需要が増大していくことを見越して、出来る限り緊縮財政に務めたことを評価する。

というのが理由です。審議の結果が来年度の予算案にどのように反映されるか、引き続きチェックを続けていきます。